

県関係機関からの質問等及び事業者の回答(湖周行政事務組合ごみ処理施設建設に係る環境影響評価準備書)

番号	ページ	区分	提出機関	意見内容	事業者の回答
1	1-16	1-7-5 事業計画	諏訪建設事務所 維持管理課	図1-7-5 廃棄物搬出入車両の走行ルート中、一般県道槽川岡谷線の山下町2丁目交差点から岡谷インター西交差点の区間については、勾配が急であるうえ、冬季には一部路面が凍結する場合があるので、安全運転に十分留意するとともに、場合により適切な迂回路を通行する等の対応を取るようになっていただきたい。	事業計画に加えるよう、評価書において対応します。
2	2-3-47	2-3-8 大気質・水質等の状況	水大気環境課	⑤微小粒子状物質について、「日平均値の最高値が環境基準を超えた日数は1日であったが、日平均値の年間98%値が環境基準を超えた日数は0日であった」という表現は、不適切であり、ここでは、「平成23年度は環境基準を達成している。」と記載し、表2-3-15の欄外に注書きで、環境基準の評価方法について記載することがよいのではないかと考えます。(例えば頁2-3-45の表2-3-13の欄外の注書き等と表現を合わせるのがよいのではないか。)	ご指摘を踏まえ、評価書において修正します。
3	4-2-38	4-2 騒音	環境保全研究所	予測条件の設定に際しては、搬出入車両の交通量を均等配分しているが、ごみの搬入は午前中収集し、昼から搬入するパターンが多いと想定されるが、どうか。均等搬入でよいとする根拠はあるのか。(現在の実績等)	ごみ処理施設運営維持管理業務において、委託収集の受付時間を8:00～17:00までとしています。 施設からの距離によって収集運搬車両の搬入時間も区々となるため、受付時間の中で均等配分しました。
4	4-13-1	4-13 触れ合い活動の場	自然保護課	地域の概況、2-3-7の触れ合い活動の場の状況中、中部北陸自然歩道の記述があるが、第4章調査・予測・保全対策・評価、4-13 ふれあい活動の場の各項目に調査範囲内であるにも関わらず、中部北陸自然歩道に関する記述がない。調査・予測・保全対策・評価が必要と思われます。	ご指摘の「中部北陸自然歩道」には、「(16)塩嶺王城小鳥のみち」が含まれており、この路線の一部が塩嶺王城パークラインです。準備書のSt.2はこのライン沿道にある展望台です。 対象事業実施区域周辺1km内における中部北陸自然歩道の代表地点を塩嶺王城パークライン展望台とし、調査を実施しています。